

NEWS

LETTER

金沢大学共同研究センター

第2号



産学連携活動の新展開へ



共同研究センター長
(理学部教授)
廣瀬 幸雄

体的な努力と責任のもとに存続と発展の道を探りあてねばならないことが重要と考えます。

そこで、センターでは2つの新たな展開を始めています。

第一は、「共同研究センター協会」の設立です。地元産業界の日常的な交流を活性化し、産学連携の一層の推進を図るため、今年度早い時期に設立を計画しています。県内企業等により結成される協会では、各種研究会や研究紹介等を行い、共同研究の量と質をともに充実させることで企業に研究成果を還元すると同時に、学術研究の萌芽をつかみ独創的な研究につなげたいと考えています。

第二は、「国際共同研究」の推進です。金沢大学は今年3月8日に中国の大連大学と大学間交流協定を締結しました。大連大学は大連経済技術開発区に位置し、大学に隣接して数千のオーダーで日本企業を含めた国際企業が産業集積しています。本学では、共同研究に積極的な大連大学と協力して産学共同研究の海外展開を計画しています。また、協会参加企業で中国企業との情報交換や中国進出を目指しているところがあれば、その支援を通じて地元貢献をしてゆきたいと考えています。

皆様のさらなるご協力、ご支援をお願いいたします。

金沢大学と産業界の架け橋となるべく発足した共同研究センターは6年を経過し、微力ながらも着実にその役割を果たしてきたと言えます。

平成12年度共同研究件数の77件は、平成7年度センター設置時22件に比べて3倍以上、昨年度38件から一気に2倍以上になっており、民間企業の研究者等と様々なテーマで盛んに共同研究が行われるようになってきた表われと考えます。

共同研究という側面から見た件数のこのような変化は、近年の地域経済の閉塞打開や産学官の力の結集による新産業創出といった大学への要請と同時に国立大学の独立行政法人化への動向に大きく影響されていることは否めません。

しかし、この変化(風)をフォローと見るかアゲインストと見るか、どのように対応してゆかによって、「地域から支持される大学」、「個性輝く大学」を目指せるか、やはり「21世紀に生き残れる大学」になるかどうかということになると言っても過言では無いと思います。学長のリーダーシップのもとに全学的な立場で、全学が一丸となって取り組む体制をつくり上げ、教員一人一人の意識改革によって金沢大学が自らの主

地域に開かれた大学への広報活動

産学連携を推進する上で、大学が地域にどのような役割を果たしているかということを市民レベルで理解していただくことが不可欠だと考えます。本センターでは、大学教育開放センターと協力して昨年9月に公開講座「地域に活かす大学の技術—ものづくりからベンチャービジネスまで—」を開講しました。合計4回の講演に160名以上の市民が受講しました。今年の2月には、「産学官協力の最前線」と題してテレビ講座を計5回に渡って放送しました。これまで大学でどのような研究プロジェクトが行われ、その成果が産業界や地域社会にどのような形で活用されているか等、実態が市民にわかりやすく紹介される機会があまりなかったもので、大変好評でした。

センタースタッフの紹介



左から 廣瀬 幸雄センター長、後藤 裕助教授
加藤 真由美と岩井 直美の各事務補佐員

産学連携を進めるために、力を合わせて頑張っています。どうぞよろしくお願い致します。

金沢大学共同研究センター
NEWS LETTER 第2号 Mar.2001
発行 金沢大学共同研究センター
住所 〒920-1192 金沢市角間町
TEL 076-264-6111 FAX 076-234-4019
E-mail jim@ccr.kanazawa-u.ac.jp
http://www.ccr.kanazawa-u.ac.jp

特許・技術移転に係るセミナー等の実施について

金沢大学では、平成12年度に知的所有権セミナー、北陸共同研究交流会での特許講演会、数回の特許相談会等を開催し、技術移転の必要性や研究成果の特許化に係る情報提供等を広く周知しました。また、本センターではいくつかのTLO(技術移転機関)を直接訪問して得た情報を学内委員会で紹介し今後の取り組みについて検討を行いました。今年度は、センター客員教官が中心となって知的所有権や起業に関する「キャリアプラン」及び「ベンチャービジネス論」の授業を行って、学生への積極的な意識啓蒙をしてゆきます。

21世紀型産学連携手法の構築に係るモデル事業(平成12年度)

金沢大学は、文部省に「産学連携活動の評価手法の構築」を提案し、北陸先端科学技術大学院大学と協力して研究を実施しました。

1. 大学と企業に対して調査した産学連携活動の現状と課題に関する先行研究結果を踏まえて全国の都道府県と政令指定都市を対象に調査を行い、産官学連携での大学への期待や有効と思う施策等の傾向を把握し、産官学連携推進方策の現状と意識を明らかにしました。

2. 教官の産学連携活動評価のため、産・官の協力者からなる委員会を組織し、評価の考え方を検討し、社会ニーズに合致した一つのガイドラインとしての活用を目指した提案を行いました。

3. 石川県が全国に先がけて実施した「産学連携いしかわ賞」の概要も紹介しています。コーディネート活動で産学連携に寄与した人に贈られる連携推進賞は、廣瀬センター長が受賞しました。



平成12年度共同研究実績について

共同研究は、民間企業等の研究者と本学の教官が共通のテーマについて対等の立場で共同して研究を行う制度で、大学の研究成果を社会に還元する上で大きな役割を果たしています。平成12年度の共同研究の契約件数は、3月21日現在で77件となり、平成11年度の38件から、倍以上増加しました。

本学では、人文社会系と自然科学系の教官の区別なく、教育学部、経済学部、理学部、医学部、薬学部、工学部、自然科学研究科、医学部附属病院、がん研究所、遺伝子実験施設、共同研究センターといった幅広い部局で共同研究が実施されるようになってきています。

※は分相型

A研究 (5件)				
共同研究テーマ	共同研究先	教員所属部局	職名	氏名
地上デジタル実験放送の小学校における利用形態に関する研究	(株) 富士通北陸システムズ	教育学部	助教授	黒上 春夫
ソフトウェアの教育利用におけるカリキュラム開発に関する研究	株式会社メディアファクトリー	教育学部	助教授	中川 一史
産業の情報化 (IT化) に向けた調査、実践的課題の研究	石川県	経済学部	助教授	飯島 泰裕
ヒトCD4+T細胞由来生体活性物質の機能とその精製法に関する研究	日本たばこ産業株式会社	医学部	教授	市村 宏
電子媒体の利用による社会人のための遠隔医学系大学院設置のフィージビリティスタディ	株式会社ソニー	自然・薬	教授	木村 和子

B研究 (70件)				
共同研究テーマ	共同研究先	教員所属部局	職名	氏名
学校放送番組研究「インターネットでつながったひとつの地球」	(株) NHK放送技術研究所	教育学部	助教授	黒上 春夫
TLCN膜の材料評価に関する研究	フジタ技研株式会社	教育学部	助教授	佐々木敏彦
デジタル通信による情報化社会構築に関する研究	株式会社バステララボ	経済学部	助教授	飯島 泰裕
モーションキャプチャーによる動画CG制作に関する研究	高藤美術印刷株式会社	経済学部	助教授	飯島 泰裕
ネットワーク対応データ共有化と可視化システム	株式会社J・シー	理学部	教授	田子 精男
エージェントの実装に関する研究	東管理工学研究所	理学部	教授	田子 精男
種々の材料におけるバイオミネラリゼーションとその経時変化	株式会社NAK技術統括部基礎研究所	理学部	教授	田嶋 和江
都心型木造三階建て住宅の工法及び外壁材に関する基礎的研究	株式会社じゅう・総合計画研究所	理学部	教授	廣瀬 幸雄
酸化チタンブロック材の製品化	株式会社ナカヤマ・エッグ	理学部	教授	廣瀬 幸雄
臭気防止に関する研究	株式会社オーエス	理学部	教授	廣瀬 幸雄
手取り湖のダムのヘドロ処理について	株式会社西山産業	理学部	教授	廣瀬 幸雄
超高電圧発生装置に関する研究	株式会社スワン	理学部	教授	廣瀬 幸雄
古紙発泡体の物理・化学的特性評価と性能改善研究	石川県	理学部	教授	廣瀬 幸雄
廃棄油からリサイクル燃料化するための装置、過程の研究	株式会社ロン・スタッフ	理学部	教授	廣瀬 幸雄
古紙を原料とする発泡体の製造に関する研究	石川県	理学部	助教授	松本 健
化学物質のアレルギー毒性の評価	株式会社新日本科学	医学部	教授	萩野 規規
交感神経神経細胞に発現するカルシウム結合型遺伝子クローニング	山之内製薬株式会社	医学部	教授	東田 剛博
Genomicsを用いた肝臓機能診断チップの作製	株式会社ジェー・シー・エス	医学部	助教授	金子 周一
褥瘡に関する共同研究	花王株式会社化学品研究所	医・保健	教授	真田 弘美
褥瘡予防用具の開発	株式会社ケーブ	医・保健	教授	真田 弘美
ケッピング装置による緑生の行動を制御する緑生遺伝子機能評価システムの研究開発	山之内製薬株式会社	医・保健	教授	細野 隆次
造影MRアンギオ造影の診断能及び検査効率の向上	GEヘルスケア株式会社 (株)	病院	教授	松井 修
直接血液灌流型選択的LDL吸着カラムの検討	録研化学工業株式会社	病院	教授	馬淵 宏
担子菌類の薬効成分に関する研究	スノーデン株式会社	薬学部	教授	太田 富久
組織細胞のDNA損傷の分子認識-輸送の多様性を利用した薬物体内動態評価法の開発	大塚製薬株式会社	薬学部	教授	辻 彰
太陽エネルギーを利用による全館空調改修システムの試作	協同組合エクス	薬学部	教授	早川 和一
CBN工具による鋼鉄の高速エンドミル加工に関する研究	住友電気工業株式会社	工学部	教授	上田 隆司

共同研究テーマ	共同研究先	教員所属部局	職名	氏名
室内汚染ガスの除去技術に関する研究	ゲイデン株式会社技術研究所	工学部	教授	江見 準
円柱状構造物に作用する流体力の予測と設計基準に関する研究	(株) 原子力安全システム研究所	工学部	教授	岡島 厚
※ YP鉄塔構造部材及び塔体の風力係数に関する研究	日本鉄塔工業株式会社	工学部	教授	岡島 厚
日本人用の新しい人工股関節の基礎的研究とその実用化	アリス・メイト・システム (株)	工学部	教授	尾田 十八
※ 異厚合わせガラスの強度評価に関する研究	旭硝子株式会社	工学部	教授	尾田 十八
※ 個別要素法による合わせガラスの破壊挙動シミュレーション	積水化学工業株式会社	工学部	教授	尾田 十八
メカトロサーボ技術の研究	沖電気工業株式会社	工学部	教授	神谷 好承
※ 磁粉がコア材に用いたコイルの凡用材反応抑制に関する研究	石川県工業試験場	工学部	教授	川村 満紀
※ ライフライン施設の耐震診断法に関する研究	カナダ Powertech Labs Inc	工学部	教授	北浦 勝
※ 通信波長帯発光素子用Er、Pr系材料の研究	日本電信電話株式会社フォトリソノクス研究所	工学部	教授	清水 立生
フライアッシュを用いたポーラスコクリート製品の開発	株式会社ホクコン	工学部	教授	鳥居 和之
※ 深地下探査レーダーの研究開発	金沢エンジニアリングシステムズ	工学部	教授	長野 勇
※ セルロース化合物の接着結合材への応用に関する研究	石川県エコ製品開発協同組合	工学部	教授	中本 義章
※ ペットボトルをリサイクルした成形加工品の分子量低下の抑制に関する研究	石川県	工学部	教授	中本 義章
※ 狭指向性再生アレイスピーカーシステムの開発	株式会社テクニカフクイ	工学部	教授	西川 清
※ 化合物薄膜の高速成長の研究	CBCインクス株式会社	工学部	教授	畑 明延
※ 高厚膜を有する抗の構築方法に関する研究	株式会社ショーワ建商	工学部	教授	宮島 昌克
※ 鉛蓄電池電源設備による一貫及びバッチ効果を持つ装置の開発	合資会社ニュー・アット・エ	工学部	教授	森 茂
※ 非線形磁気応用限流装置基礎研究	(株) 日立製作所	工学部	教授	山田 外史
※ 1軸制御軸受型磁気軸受の小型化	理学電機株式会社	工学部	教授	山田 外史
※ 反発浮上形磁気軸受小型化に関する研究	(株) 山田研究開発本部	工学部	教授	山田 外史
※ 製鋼プロセス理解解析構成員工程理解解析 Part 2	富士写真フイルム株式会社	工学部	教授	山田 敏郎
※ ウエハー熱処理用 Hot plate の温度分布解析	京浜測器株式会社	工学部	教授	山田 敏郎
※ 高精度マイクロ旋盤の開発	中村精密工業株式会社	工学部	教授	米山 基
※ 光導波路解析及び光測定系構築に関する共同研究	太陽誘電株式会社	工学部	助教授	飯山 宏一
※ ソイルセメントによる中空型改良杭の解析方法に関する研究	株式会社ミナミ	工学部	助教授	横谷 浩
※ 中空断面化したソイルセメント杭の解析方法に関する研究	株式会社桑原組	工学部	助教授	横谷 浩
※ レザアプレッションによる光IC要素技術に関する研究	太陽誘電株式会社	工学部	助教授	森本 章治
※ 電波計測装置の研究開発	株式会社テクノピア	工学部	助教授	八木谷 聡
※ POF光通信システムに関する研究	太陽誘電+マイクロケル (株)	工学部	助手	深山 正幸
※ 低温X線装置の開発	理学電機株式会社	自然・理	教授	鈴木 治彦
※ 粘土鉱物の構造に関する基礎的研究	日本ポリケム株式会社	自然・理	助教授	佐藤 努
※ 有害物質の自然希釈に関する基礎的研究	東邦レオ株式会社	自然・理	助教授	佐藤 努
※ 環境モニタリング技術のスケールアップに関する研究開発	株式会社インバイタル・システムズ	自然・薬	教授	正宗 行人
※ ソイルセメントによる中空型改良杭に関する研究	株式会社ミナミ	自然・工	教授	梶川 康男
※ 中空断面化したソイルセメント杭の実用化に関する研究	株式会社桑原組	自然・工	教授	梶川 康男
※ 高架橋の環境振動軽減対策に関する研究	株式会社フジエンジニアリング	自然・工	教授	梶川 康男
※ 局所酸素代謝測定に関する研究	バイオメディカル株式会社	自然・工	教授	山越 憲一
※ 手首における連続血圧測定法の研究開発	(株) 株式会社バイオメトリクス研究所	自然・工	教授	山越 憲一
※ 赤外分光血糖計測法に関する研究	タマチ工業株式会社	自然・工	教授	山越 憲一
※ アパタイト/コラーゲン複合材を用いた人工骨モジュールの強度評価	タマチ工業株式会社	自然・工	教授	山越 憲一
※ 生体膜土のボード化に関する研究	有限会社エム・イー・シー	共同セ	教授	廣瀬 幸雄
※ 盛土内に設置するボックス・ト(共同溝)の設計・施工に関する研究	前田建設工業株式会社	共同セ	助教授	後藤 裕

C研究 (2件)				
共同研究テーマ	共同研究先	教員所属部局	職名	氏名
遺伝子ネットワークの研究支援システムの研究開発	インテック・アド・システムズ株式会社	がん研	教授	伊藤 隆司
クローン牛の遺伝子解析	石川県	遺伝子	教授	山口 和男